

6月定例市議会で予算審議の冒頭、佐藤市長が今年度の施政方針を発表しましたのでお知らせします。

平成21年度

施政方針(要旨)

はじめに

阿蘇市の市長として、引き続き今後4年間の阿蘇市の舵取り役として、その重責を担うこととなりました。

これからも、身を引き締め、市民の皆様一人ひとりの思いを大切に、さらに魅力ある希望のもてる阿蘇市の創



▲議会で施政方針を述べる佐藤市長

造にむけて、市民の方々が安心して暮らすことができる安全なまちづくり、命を大切にすまちづくりを目指し、公平公正な市政の運営に取り組んでまいります。

【市の財政】

アメリカのサブプライム・ローンに端を発し深刻化する金融危機から、国内の景気底割れと世界的な景気後退に対処するため、国は更に「経済危機対策」を打ち出しました。

一方、地方財政については、引き続き徹底した行財政改革を進め、財政の健全化・効率化、また財源の充実確保を目指すとともに、今般の危機的経済情勢に応じて果敢な対応を機動的かつ弾力的に行うことが求められています。

本市においては、こうした国の施策や方針に鑑み「安心・安全に暮らせるまちづくり」「市民生活に直結した生活関連整備事業」「教育環境の充実」等を中心に予算編成を行いました。その結果、予算総額は前年同期と比較しますと3.4パーセントの増となっています。

また、国の補正予算には、積極的に経済危機対策に取り組むよう、「地域活性化・公共投資臨時交付金」並びに「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」が創設されています。本市においても、

これら交付金事業に積極的に取り組んでまいります。

【行財政改革】

これまで効率的・効果的な行政運営を目指し、退職者の不補充による人員削減、政策や施策の評価により持続可能な財政基盤を確立するため、集中改革プラン、行政改革大綱に基づき積極的に取り組んできました。これからも各種施設について指定管理者制度の利用をさらに進めるなど、一層スリムな行政運営に努め、将来に負担を残さないよう地域づくりに取り組んでまいります。

健康でいきいきと暮らすために

【児童福祉】

少子化が深刻な社会問題となっていますが、このことは、子育てに対する経済的負担、女性の社会進出、価値観の多様化などに起因しています。安心して産み育てることができる環境整備のため「次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定し、育児や子育てに関する相談体制等、子育て支援事業の充実を努めてまいります。また本年度から、妊婦健康診査の助成を今までの5回から14回すべてに拡充助成し、安心して出産に臨めるよう支援してま

まいります。

【保健予防】

「阿蘇市健康増進計画」に基づき、健康生活の基本であります「食生活習慣」について、各年齢層に合わせた事業を展開し、各種がん検診等の受診率向上に努め、市民の方々の健康増進と疾病予防に取り組んでまいります。

なお、新型インフルエンザ対策については、今後も、情報収集を怠ることなく、市民の方々の不安を招かないよう保健所等の関係各機関との連携を図り、市民の方々の安心安全のため全力で対応します。

【国民健康保険】

本年度も税率を据え置き、収納率の向上による財源の確保に取り組みます。併せて特定健康診査・特定保健指導の受診促進などを実施し、医療費の適正化を図り、円滑な運営に努めます。

【高齢者福祉】

平成20年度に策定された「高齢者いきいきプラン」は、平成23年度までの第4期の計画であります。この計画書をベースに「高齢者の方々が安心して暮らせる快適なまちづくり」ができるよう更に取り組んでまいります。

近年では、特に地域での見守り活動やサロン等の定期的な集まりが頻繁

健康でいきいきと暮らすために

- ・消費者行政活性化事業……………199万円
- ・阿蘇市社会福祉協議会運営費負担金……………6,237万円
- ・障害者福祉年金事業……………1,200万円
- ・重度心身障害者医療費助成事業……………8,760万円
- ・地域活動支援センター委託事業……………1,720万円
- ・自立支援医療費（更生医療分）助成事業……………3,614万円
- ・相談支援事業委託……………1,167万円
- ・日中一時支援事業委託……………1,080万円
- ・自立支援給付事業……………3億7,488万円
- ・補装具給付事業……………1,500万円
- ・身体障害者住宅改造助成事業……………210万円
- ・特別障害者手当等給付事業……………1,545万円
- ・通所サービス利用促進事業……………151万円
- ・高齢者住宅改造助成事業費補助……………817万円
- ・老人クラブ連合会活動等事業補助……………991万円
- ・敬老会補助……………1,090万円
- ・老人ホーム上寿園運営費……………1億2,611万円
- ・介護予防施設管理費用（福寿荘、波野ふれあいプラザ
ふれあいプラザ北外輪）……………410万円
- ・後期高齢者医療広域連合負担金……………4億5,458万円
- ・放課後健全育成委託事業……………1,097万円
- ・乳幼児医療費助成事業……………4,852万円
- ・児童・育児手当……………3億6,244万円
- ・児童医療費助成事業……………1,902万円
- ・母子家庭支援事業……………842万円
- ・保育園運営費……………9億7,518万円
- ・生活保護扶助費用……………2億6,586万円
- ・輪番制（日曜・祝日在宅）病院運営事業補助……………1,020万円
- ・インフルエンザ予防接種・個別接種委託事業……………3,531万円
- ・各種検診委託料……………3,585万円
- ・妊婦・乳幼児検診等委託事業……………1,672万円

水田農業対策に
ついては、「米・麦・
大豆」の2年3作
の作付体系が確立
しつつあります。
ただ、米の生産調
整は、減反の廃止
や見直しについて
論議されており、
今後の動向を見極
めながら取り組ん
でいきます。

活力ある農林業のために

- ・営農生産部会活動支援事業補助……………200万円
- ・自立経営体育成資金利子補給補助……………241万円
- ・園芸新たな挑戦強化対策事業補助（静電墳口導入）……………117万円
- ・家畜導入事業補助……………744万円
- ・あか牛オーナー制度事業補助……………30万円
- ・くまもと和牛緊急増頭対策事業補助……………403万円
- ・畜産総合対策事業補助（強い農業づくり交付金）……………622万円
- ・牛異常産予防接種補助、放牧寄生虫駆除薬補助、
赤牛産直素牛導入補助、受精卵移植補助……………1,074万円
- ・家畜導入事業資金供給事業補助……………1,720万円
- ・農道等整備事業……………6,634万円

に行われており、その中で健康を維持し、要介護状態にならないための地域での取り組みを引き続き支援していきます。
高齢者の方々への就労支援は、今後増大する団塊世代の定年退職者に対する就業機会の提供なども踏まえ、就労を通じた生きがいづくりの環境整備が必要であり、福祉行政・労働行政と関連する課題として関係部署等による検討委員会を設置し、就労支援策を検討していきます。
また、老朽化が進む養護老人ホームの施設については、今後の対策として、

【阿蘇中央病院】

「阿蘇市養護老人ホーム運営検討委員会」（仮称）を設置し、関係者の方々のご意見をいただきながら検討を進めてまいります。
阿蘇地域の中核医療機関としての役割を果たし、市民の方々の安心と健康を守っていくためにも、老朽化した施設を建て替え、医療機器の充実や地域の医療機関との連携を図り、医療体制を再構築することが不可欠であります。これらを受け、病院の建設について、その規模や機能、診療科目の構成、概

【農業振興対策】

活力ある農林業のために
担い手農家の確保・支援育成のため、認定農業者制度を積極的に活用してまいります。また、集落営農組織等の育成については、法人化等へ向けた成熟度向上に対する支援策と同時に、地域集落の状況に応じた営農組織への育成・支援も併せて推進していきます。
計画策定にあたっては、「阿蘇中央病院建設準備室」を病院内に設置し、これらの推進事務を進めてまいります。

- ・県営経営体育成基盤整備事業負担金……………5,060万円
- ・県営経営体育成基盤整備事業水路工事負担金……………1,218万円
- ・阿蘇南小国地区農免農道事業負担金……………250万円
- ・熊本県農地・水・環境保全協議会補助……………9,000万円
- ・中山間地域総合整備事業県営事業負担金……………1,715万円
- ・地籍調査事業……………4,227万円
- ・経営構造対策事業費負担金（リース事業）……………576万円
- ・自給飼料増産総合対策推進事業費補助……………37万円
- ・バイオマスエネルギー実証実験事業……………7,862万円
- ・森林総合研究所分収造林事業業務委託……………1,181万円
- ・熊本のもり間伐材利用推進事業補助……………1,472万円
- ・林道整備事業……………1,752万円
- ・森林整備活動支援交付金事業……………1,600万円

更に、地元農産物等への戦略的な対策については、農・観・商及び昨年相に相互協定を結びました東海大学との連携強化を図り、地産地消の取り組みなど、新たな本市の特産品づくりの推進を行うてまいります。

また、本年3月、国・県・産山村と共同で設置しています「阿蘇東部農業開発推進協議会」において、大蘇ダムの水利利用を含めた施設園芸作物4品目並びに露地作物2品目についての「栽培マニュアル」を作成しました。新たな大規模モデル団地整備に取り組んでいきたいと思ひます。

【畜産振興対策】

草資源の活用による自給飼料の確保や放牧期間の延長、また、周年放牧の取り組みを進め、更なる生産コストの削減に努めていきます。

また、飼養頭数が減少傾向にある「あか牛」の消費拡大に向け、あか牛肉の地域内流通と産直事業の取り組みを県及び関係機関と連携しながら更に強化してまいります。

【農村整備事業】

老朽化の著しいほ場整備工区の再整備を図るため、経営体育成基盤整備

事業及び農地集積加速化基盤整備事業により、長期計画に基づく、用排水路や暗渠排水、区画整理等の整備を行い、担い手農家への農地集積を実施します。

また、引き続き農業者、市民、観光客が利用しやすい道路網構築を図るため、幹線道路・広域農道整備の継続的な事業推進を行ってまいります。

【地籍調査】

昨年度に境界の立会いを実施しました一の宮・宮地地区、波野・赤仁田地区の測量業務、また波野・小園地区境

界立会い等を実施いたします。

【バイオマス事業】

本年が5ヶ年の事業期間の最終年度となる「バイオマスエネルギー地域システム化実証実験事業」は、これまでの事業成果を基に事業評価を行います。

「経済性」「環境性」「普及性」等について評価した結果は、エネルギー事業としての継続はもろんのことバイオオマスタウン構想を推進するうえで、重要なものであります。評価結果がまとまり次第ご報告させていただきます。

地域振興と観光産業育成のために

【商工・観光振興】

6月より「阿蘇市とくとお買物券」を発売し、経済環境の急激な悪化に対して、阿蘇市内での個人消費の喚起と購買意欲の促進を図り、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

また、空き家等対策事業や景観整備事業を引き続き進めるとともに、地域活性化に積極的に取り組んでいる地域や団体に対しても支援してまいります。観光についても、経済金融危機により、海外宿泊客、特に韓国からの観光客が大幅に減少しておりますが、本年3月から始まりました経済対策の一つ

地域振興と観光産業育成のために

- ・ 商工会・観光団体等補助……………3,656万円
- ・ 景観整備事業補助……………270万円
- ・ 商店街活性化事業補助(空家等対策事業)……………754万円
- ・ 内牧中心市街地まちなみ整備事業
(内牧児童公園整備)……………2億1,902万円
- ・ 阿蘇市とくとお買物券実行委員会補助……………4,000万円
- ・ 外国人向観光案内業務委託事業……………165万円
- ・ 阿蘇の火まつり負担金……………218万円
- ・ 阿蘇の花の祭典補助……………700万円
- ・ 地域振興型イベント補助……………1,500万円
- ・ 大阿蘇クロスカントリー大会補助……………180万円
- ・ バルーンフェスティバル補助……………675万円
- ・ 鉱泉源施設管理運営助成……………1,315万円
- ・ 阿蘇駅周辺再開発事業……………1億1,520万円
- ・ 人づくり・地域づくり事業助成……………200万円
- ・ 移住・交流受入システム構築業務委託事業……………200万円
- ・ ふるさと雇用再生特別事業
観光インフォメーション事業委託……………181万円
地域特産物加工技術研究事業……………324万円
- ・ 緊急雇用創出事業
土木関係施設維持保全事業……………111万円
市有林整備事業委託料……………510万円
地域バイオマス活用促進事業委託料……………430万円
森林整備活性化緊急事業……………90万円
旧町村史編纂資料等整理作業……………152万円



▶消費者にうれしい企画となった「阿蘇市とくとお買物券」販売の様子



▲減反田一面に見事に咲き誇ったショウブ(跡ヶ瀬ショウブ園)

であるETC装着車の高速道路料金
の割引により阿蘇地域においても入
込客は増加しており、海外からの観光
客の減少分を補うことが出来ればと
期待しています。

平成23年3月全線開業予定の九州
新幹線に向けては、これまでのエコツ
アーやタウンツーリズムに加え、四季
折々に繰り広げられる伝統行事や阿
蘇に伝わる神話・祭り等の潜在的な観
光資源を積極的に活用した観光を展
開してまいります。

また、阿蘇五岳・外輪山等の草原は

阿蘇地域が世界に誇る地域資源であ
ります。この草原の再生に向けても地
元牧野組合や観光業者の皆様と連携し、
森林の伐採や野焼きの実施による再
草原化を行い、阿蘇のイメージアップ
を図るとともに、より環境を大事にし
る観光地として情報発信をしてまい
ります。

イベント関係については、合併以来
長期イベントとして定着しました「阿
蘇の花の祭典」ですが、本年は新たに
長寿ヶ丘公苑のツツジが加わりました。
今後も新たな素材を加え、イベントの
レベルアップに努めます。

雇用関連では、国庫補助を活用した
「緊急雇用事業」や「ふるさと雇用」と
いった短期または長期にわたる事業
に取り組んでおりますが、まだまだ不
透明な経済情勢でもあり、国の追加経
済対策等を活用した雇用確保に取り
組んでいきたいと考えています。

【地域振興】

阿蘇駅周辺再開発事業(交通安全施
設等整備事業)については、道の駅「阿
蘇」に、先日、一年を待たずして50万人
のご来館をいただきました。

立地条件が良い事もありますが、利
用者の方々にはアンケート等の意見
として、「景観や雰囲気阿蘇らしく
とても良い」とのご意見を多数いただ
いています。

今後も引き続き、阿蘇の玄関口とし
て交通広場(駅前ロータリー)整備を
中心に、阿蘇駅周辺を「阿蘇山麓の森
の中」とした阿蘇らしいイメージにす
べく、現在、JRや産交バスなどと協
議を進めています。

内牧中心市街地まちなみ整備事業
については、市政モニター会議をはじ
め、特に子育て中の若い世代の方々か
ら「子どもが遊べる公園整備」を望む
声が数多く上がっていることから、今
年度、内牧地区において大型コンビネ
ーション遊具を中心とした児童公園
整備を進めております。

本事業は、内牧商店街を回遊する際
の拠点整備として重要な側面を持つ
ものでもあり、今後、街角展示スペー
スの設置及び街路灯整備と併せて、歩
きたくなる内牧温泉街づくりの実現
を目指していきたいと考えています。

住みよいまちづくりのた
めに

【道路整備・市営住宅整備】

農業や観光・商工業などの産業支援
や市民の方々の利便性向上を目的と
した阿蘇市幹線道路整備事業につい
ては、平成19年度から道整備交付金事
業を活用し、昨年度下西河原地区の一
部供用開始を行うことができました。

本年度も用地取得が済んだ区間か
ら随時工事に着手し、計画路線の早期
竣工に向け、全力で取り組んでいきま
す。

また、市営住宅については、総数の
8割が耐用年数を超えるなど、老朽化
により極めて危険な状態となってい
るため、移転集約団地を建設する計画
であり、昨年度、市営住宅再整備事業
により第1期工事として、新小里団地
1棟20戸が完成し、入居者の移転を行
いました。

本年度は新小里団地2棟目20戸の
建設と、新たに宮地中央地区の池尻団
地1棟目20戸、合わせて40戸の建設に
着手してまいります。

【情報基盤整備】

市内における携帯電話の不感地域(携
帯電話による通信ができない地域)の
解消については、国の携帯電話等エリ
ア整備事業に要望を行ない、地域情報
通信基盤整備推進及び公共投資臨時
交付金を活用しながら、荻の草地区・
深葉地区・山崎地区の携帯電話の通話
問題を解決できるよう、積極的に取り
組んでいきます。

本年度までの2年間、総務省の委託
を受け、インターネットを活用した地
域の課題の解決に向けた総事業費約
1億円の「地域ICT活用モデル構
築事業」に取り組んでいます。

市としては、このICT（情報通信技術）を活用し、都市住民や企業との情報の共有や活用を図りながら、阿蘇の自然環境保全、自然エネルギーの推進、自然とのふれあいや学習の場の提供など地域との協働による取り組みを進めてまいります。

現在、国は、経済危機対策の一環として、情報通信基盤整備及び情報格差是正を掲げています。市としても、地域の情報格差解消、市民サービスの向上、地域活性化等のため、地域情報通信基盤整備推進及び公共投資臨時交付金

を活用した阿蘇市全域への光ファイバーケーブルの敷設を要望しています。

【防災】

各地区から設置要望の多い防火水槽の早期整備に向け、交付金事業を活用し例年の倍の6基の整備を、また消防団配備の小型動力ポンプの更新を5台予定し、さらに安心で安全なまちづくりを進めてまいります。

【人権啓発】

あらゆる人権問題を解決するため

には、お互いの人権を尊重することが優しく住みよいまちづくりの基礎であるという認識のもと、今後も関係機関や団体等との連携により、人権教育などの啓発活動を推進してまいります。男女共同参画社会づくりについては、女性団体との連携や男女共同参画審議会の意見を踏まえ、取り組みを進めてきました。

しかしながら実態として性別による固定的役割分担や働き方の見直しなど、課題も多く残っているのが現状であり、今後更なる各種事業の推進を

していききたいと思えます。

【上水道】

本年度は、昨年度策定しました水道ビジョンに基づきの石・西町・泉地区の老朽管布設替工事、殿塚水源地・中継ポンプ施設電気更新工事、内牧配水池改修工事を行います。

簡易水道については、山田地区の老朽管布設替工事、狩尾水源地施設電気更新工事、波野地区の漏水調査を行います。

【下水道】

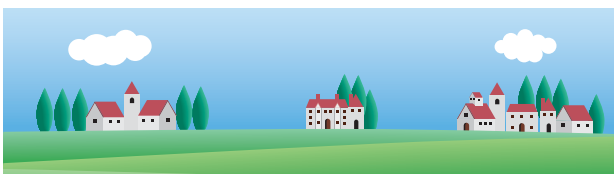
本市公共下水道事業は、平成20年度末で273haを整備し、整備率73.2%、水洗化率70.1%となっています。

しかし、市全体を考えますと下水道普及率は19.1%と非常に低い状況であり、今後、公共下水道による早期の環境整備、事業促進に向け対策を強化していかねばなりません。

また、阿蘇市浄化センター（下水道処理場）は、昭和61年の供用開始から22年を経過しており、耐用年数超過による老朽化と面整備拡大により処理能力が限界に近づいているため、大規模改修、増設が必要となってきました。本年度は、中長期的な計画に基づいた、浄化センターの改築更新工事と主要幹線管渠改修を目的とした管渠長寿命化事業に着手したいと考えております。

住みよいまちづくりのために

- ・市道維持事業.....8,238万円
- ・市道新設改良事業.....3億2,071万円
- ・幹線道路(通称8m道路)整備事業.....5億3,464万円
- ・橋梁長寿命化計画策定業務委託.....540万円
- ・橋梁補修工事.....1,500万円
- ・河川等改修事業.....4,470万円
- ・市営住宅建設事業.....7億7,727万円
- ・ASO環境共生基金事業.....295万円
- ・地域ICT利活用モデル事業.....3,775万円
- ・波野地区バス運行委託事業.....282万円
- ・路線バス運行補助.....6,300万円
- ・乗合タクシー運行補助等.....198万円
- ・阿蘇広域負担金(火葬・RDF施設・リサイクル施設、最終処分場、し尿処理).....7億1,927万円
- ・合併処理浄化槽設置整備事業費補助.....5,778万円
- ・ごみ収集運搬及びごみ処理費用.....3,813万円
- ・人権啓発及び指導関係費用.....1,513万円
- ・コミュニティー助成事業費用(地域自主活動).....390万円
- ・上水道整備事業.....1億4,274万円
- ・簡易水道事業整備事業.....3,002万円
- ・下水道整備事業.....3億525万円
- ・阿蘇火山及び防災対策事業(ガス対策監視員・噴火対策費用等).....2,377万円
- ・交通安全対策事業(交通指導員、ガードレール、カーブミラー設置等).....1,736万円
- ・阿蘇広域負担金(消防費).....3億9,449万円
- ・消防団活動費用.....6,192万円
- ・消防施設整備事業(消火栓設置、防火水槽設置等).....3,204万円
- ・防災行政無線管理費用(保守点検、修繕等).....1,186万円
- ・防災マップ作成業務委託料.....183万円



教育の充実のために

【学校教育】

総合的な学習時間や放課後子ども教室事業、学校支援地域本部事業など、地域の方々の教育力を活かしながら、大人のすばらしさを伝え、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めており、今後も継続的に取り組んでまいります。

小・中学校においては、本年4月から新しい学習指導要領の一部が先行実施されています。算数・数学、理科は、授業時間を増やし、小学校5・6年では新たに外国語活動にも取り組んでいます。

今後、家庭との連携を密にし、新学習指導要領が目指す確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成に努めるとともに、子ども達に基本的な生活習慣や家庭学習の習慣化を身につけてまいります。

更に、子ども達が地域に誇りと愛着を持ち、感性豊かに育つように、阿蘇の豊かな自然環境、郷土芸能・伝承等を活かした教育に向け、一層取り組んでまいります。

学校規模適正化計画ではありますが、4月には、保護者並びに地域住民の方々への説明会を市内小学校区ごとに開催しました。

ある程度ご理解がいただけたと感じていますが、PTAでの説明会や地

域説明会、パブリックコメントでたくさんの方々からご意見をいただきましたので、計画に反映する意見、参考とする意見などの精査を行い、教育委員会として基本計画の正案を決定します。

計画の実施にあたっては、学校統合の枠組みについての理解が得られた校区から取り組むこととし、統合準備委員会の設置や校舎敷地の候補地の選定・用地の確保、設計等の作業に着手して行くこととなりますので、ご理解をいただきたいと思います。

【社会教育】

市民一人ひとりがいつでも学べる環境づくりとして、生涯学習講座や公

民館活動など生涯を通して学習できる取り組みを進めています。

公民館活動では、小学校区単位での活動組織づくりがすべて整いました。市民のライフステージに合わせた活動を推進するとともに、スポーツ振興では、市民の体力向上や健康増進、競技力の向上を図ってまいります。

【世界文化遺産登録に向け】

世界文化遺産登録の前提となる世界文化遺産暫定一覧表入りを目指し、「阿蘇―火山との共生とその文化的景観」をコンセプトとして、県と阿蘇郡市7市町村で共同提案していました。

その結果、一覧表記載は見送られたものの「国内暫定一覧表候補」とされ、その中で最も評価が高い「カテゴリーIa」に位置づけられました。

今後は、県及び阿蘇郡市7市町村の連携協力のための推進体制を整え、更に本市が最も関係の深い市町村であることから専任職員を配置、県配置の専任職員と共に推進室を組織し、県と共同で世界文化遺産暫定登録に向けた具体的な作業に着手していくこととなります。

以上を今年度の施政方針と致します。市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

教育の充実のために

・英語指導助手導入費用	1,382万円
・学校教育指導主事費用	331万円
・特別支援学級支援員及び特別・普通学級支援員費用	1,632万円
・スクールバス車庫建設工事 (波野小学校)	776万円
・グラウンド排水対策工事 (一の宮中学校)	3,220万円
・楽器整備事業	1,420万円
・放課後子どもプラン推進事業補助	185万円
・阿蘇市子ども会・単位子ども会活動補助	387万円
・文化協会・郷土芸能保存活動補助	196万円
・阿蘇市子ども芸術祭補助	200万円
・阿蘇神社防災設備整備事業補助	200万円
・生涯学習及びスポーツ振興事業費用	1,841万円
・人権同和教育事業費用	769万円
・公民館活動費用(分館活動・地区公民館整備補助等)	1,484万円
・図書館運営事業	6,060万円
・世界遺産推進事業	1,672万円
・体育施設維持管理運営費用	1億1,463万円
・給食センター運営費用	1億9,473万円



▲公民館活動で凧づくりを楽しむ子どもたち